

(様式2)

学校関係者評価報告書

新居浜特別支援学校川西分校

学校番号 (54)

評価実施日		令和6年 2月 15日 (木)	
委員	氏名	所属等	備考
	藤田 晴美	P T A 会長	書面にて参加
	岡部 真奈美	P T A 副会長	
	小林 千春	P T A 副会長	
	坂上 公三	新居浜市連合自治会長	書面にて参加
	合田 明典	愛媛県立新居浜西高等学校教頭	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 自己評価結果について</p> <p>・働き方改革については、数値が低く出ているが、高等学校でも大幅に超過勤務している教職員が多く苦慮している。</p> <p>・参観日や文化祭、運動会等で学習成果を見せてもらっているが、それぞれの子どもに合わせた仕組みを考えてくれていることが大変ありがたい。</p> <p>・来年度、呼吸器装用のお子さんが入学するが、他校では保護者が子どもから離れて過ごせるようになっていくと聞く。今後も呼吸器のお子さんの入学に備えて、学校も子どもと離れられる環境を少しずつ作り、対応していけるようになると良い。</p> <p>・コロナ感染症が5類に移行したので、P T A 座談会もみんなで集まり、話すことができ楽しかった。感染症がなくなった訳ではないので、対策をとりながら子どもたちが楽しく過ごせるような行事ができると良い。</p>	<p>・限られた人員で業務を行うため、年度当初の段階で、役割分担が偏らないよう配慮する。また、業務を一人で請け負わず複数で関わるようにすることで、今後の引継ぎにもつながると考えている。</p> <p>・担任が中心となり、個別目標を達成できるような支援に努めている。今後も工夫を重ね、支援の充実を図りたい。</p> <p>・初めての呼吸器装用の児童も、医ケアが安定し、元気に登校している。今後も個々の状態に応じて、一人一人について主治医の先生の意見も伺いながら受入れをしていきたい。また、県の医療的ケアガイドブックにも、保護者に協力をいただきたい内容が明記されているので、御協力をお願いしたい。</p> <p>・P T A 行事については、来年度も、今年度までの積み重ねの上に工夫を重ねながら実施する。</p>
<p>2 学校運営全般について</p> <p>・隣接する新居浜西高等学校との、家庭クラブが主体となった交流活動では、ほぼ毎月1回の昼休み交流で良い関係作りができており、今後も是非続けていきたい。校内の人権作文集にも、交流の題材が見られたり、過去には、交流を通じて特別支援教育を目指したいという生徒が出てくるなど、高校生にとって良い経験の場となっている。</p> <p>・コロナ禍を経て久しぶりに行った、高等学校との合同防災訓練では、高等学校側の教職員も役割分担をして車椅子を運んだ。また、危機管理マニュアルを見直し、川西分校に火災等が起こった場合を想定した動き方を盛り込んだので、今後も連携を図りたい。</p> <p>・冬場のエアコン運転開始時期や温度設定など、決まったものはあるのか。寒くないよう調整してほしい。</p>	<p>・今年度は、感染症等で交流が中止となることも減り、担当者間で感染状況がどうか等の打合せを細かく行いながら安全に実施できた。</p> <p>・昼休み交流では、毎回参加する生徒や、決まった学級、決まった児童生徒を目当てに来校する生徒もいる。このような輪が広がるよう今後も参加を呼び掛けたい。</p> <p>・同じ敷地内にあるだけでも意義がある。授業や体験学習だけでなく、ふだんからの自然な関わりを大事にしたい。</p> <p>・今年度久しぶりに合同での実施ができ、高校生や教職員に本校児童生徒の実態を知ってもらうことができた。合同訓練・校内訓練とも、今後も継続し、協力体制を構築したい。</p> <p>・体温調節や体調管理が難しい子どもが多く在籍しているため、一律に定めるのではなく、個々の身体状況や担任の意向等に沿って時期や温度を管理する。こまめに調整し、健康管理に努める。</p>